

## 2023 年の世界経済見通しセミナー (1/26) 開催結果のご報告です！



講師の 丸紅経済研究所 所長  
今村 卓氏

本セミナーでは、丸紅株式会社 執行役員 丸紅経済研究所所長 今村卓氏を講師としてお招きし、主要国・地域の動向をメインに、2023 年の世界情勢の見通しについて分かりやすく解説いただきました。

WEB 形式で開催させていただいた本セミナーは、全国各地から約 130 名の皆様にご参加いただきました。セミナー中は、講演中にアンケート機能を使い、講師からの質問に対し参加者の皆様にご回答いただく時間や、セミナー中に頂戴したご質問について講師の方から回答いただく場面もございました。

ご参加いただいた企業様からは、「世界経済の見通しセミナーは丸紅ならではのコンテンツであり、自社だけではなくお取引先様への情報提供としても大変有益な内容でした。」「大変分かりやすい解説でした。今年の経済見通しが理解できました。」等の声がございました。

### 1-1. 世界経済の見通し (1) : 国際情勢

#### 米中対立、ロシアのウクライナ侵攻等を巡り分断が継続

米中対立、ロシアのウクライナ侵攻等を受け、国際社会の分断が継続。世界的な景気後退懸念が勢 (支援体制、ロシアと新興国の距離など)、希少財 (エネルギー・資源、半導体など) の争奪

**注目点① 2023年の米中関係は？**  
半導体等の先端技術分野やイデオロギーを巡る対立は継続。米国務省は対中政策を調整する「チャイナ・ハウス」を設置し、競争の管理のスタンスを強化。日本も国家安全保障戦略で中国を「最大の戦略的挑戦」と位置づけ。

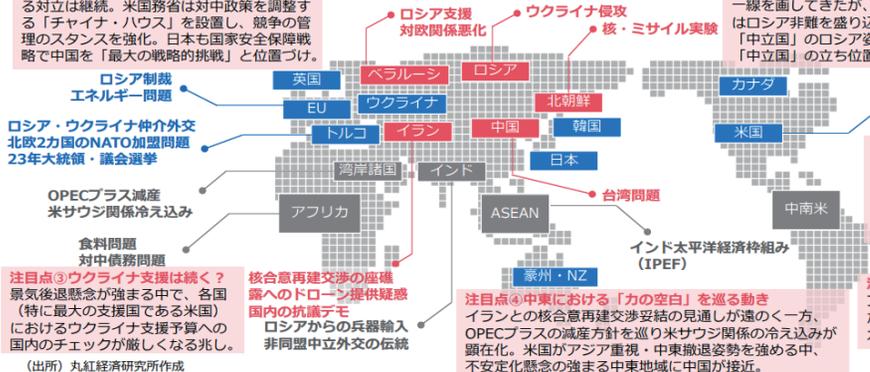
ロシア制裁  
エネルギー問題  
ロシア・ウクライナ仲介外交  
北欧2か国のNATO加盟問題  
23年大統領・議会選挙

OPECプラス減産  
米サウジ関係冷え込み

食料問題  
対中債務問題  
**注目点③ ウクライナ支援は続く？**  
景気後退懸念が強まる中で、各国 (特に最大の支援国である米国) におけるウクライナ支援予算への国内のチェックが厳しくなる兆し。

(出所) 丸紅経済研究所作成

#### ▽ 国際関係の現状



**注目点② 「中立国」の対東南アジア等の「中立国」**  
一線を画してきたが、22年11月のG20、APECサミットではロシア非難を盛り込んだ共同声明が発表されるなど、「中立国」のロシア姿勢に変化の兆し。米中対立でも「中立国」の立ち位置は焦点のひとつ。



長期化するウクライナ支援  
対中貿易・投資規制強化  
人権制裁

**注目点⑤ 米欧の協調体制にひび？**  
安全保障への影響が異なる両者でウクライナ危機への対応に温度差。また、米インフレ削減法 (IRA) に基づく自国企業優遇の方針にEUが反発、保護主義への傾倒も。

**注目点④ 中東における「力の空白」を巡る動き**  
イランとの核合意再交渉の進展が見えつつ、OPECプラスの減産方針を巡り米サウジ関係の冷え込みが顕在化。米国がアジア重視・中東撤退姿勢を強める中、不安定化懸念が強まる中東地域に中国が接近。

**注目点⑥ 南米の左傾化に変調？**  
ブラジルでは左派のルラ政権が誕生した一方、ペルーでは汚職疑惑で左派のカスティジョ前大統領が交代。

Marubeni

Marubeni Corporation All Rights Reserved. 3

講師の 丸紅経済研究所 所長  
今村 卓氏 講演の様子

当会は、今後も以下の WEB セミナーを開催予定です。ご興味がございましたら是非ご参加下さい。

- ・ 2022 年 2 月 障害者雇用について知るセミナー
- ・ 2022 年 3 月 DX をマーケティングに生かそう！セミナー (仮題)

当会では、週 1 回の各種情報配信、当会主催セミナーに関するご案内、丸紅グループの総合力を活かしたサービス提供を通じ、会員企業の皆様の経営課題解決をサポートいたします。当会の活動に関しご不明な点等ございましたら、以下問い合わせ先へお気軽にご連絡ください。

問合わせ先

丸紅取引先協力会事務局 (丸紅株式会社 保険事業部)

TEL : 03-3282-7872 E-mail : kyoryokukai@marubeni.com